

Dell P2018H ユーザーガイド

モニターモデル: P2018H
規制モデル: P2018Hc



-  注意: 注意は、コンピュータをより使いやすくするための重要な情報を示します。
-  警告: 警告は、もし指示に従わない場合は、ハードウェアに対する損傷またはデータ損失が起こりうることを示します。
-  危険: 危険は器物損壊、怪我、死亡に繋がる可能性を示します。

Copyright © 2017 Dell Inc.またはその子会社。All rights reserved. Dell、EMC、および、他の商標は、Dell Inc.またはその子会社の商標です。他の商標は、それぞれの所有者の商標である場合があります。

2017 - 09

Rev. A00

目次

| | |
|-----------------------------|----|
| お使いのモニターについて | 6 |
| パッケージ内容 | 6 |
| 製品の特徴 | 8 |
| 部品とコントロールの識別 | 9 |
| 前面ビュー | 9 |
| 背面ビュー | 10 |
| 側面ビュー | 11 |
| 底面ビュー | 12 |
| モニターの仕様 | 13 |
| 解像度の仕様 | 14 |
| ビデオのサポートモード | 14 |
| プリセットディスプレイモード | 15 |
| 電氣的仕様 | 15 |
| 物理特性 | 16 |
| 環境特性 | 17 |
| 電源管理モード | 18 |
| ピン割り当て | 20 |
| ユニバーサルシリアルバス (USB) インターフェイス | 23 |
| プラグアンドプレイ機能 | 26 |
| LCDモニター品質とピクセルポリシー | 26 |
| お手入れのガイドライン | 26 |
| モニターの清掃 | 26 |



| | |
|--------------------------------|----|
| モニターの設定..... | 27 |
| スタンドの取り付け..... | 27 |
| モニターの接続..... | 29 |
| ケーブルを整理する..... | 31 |
| モニタースタンドの取り外し..... | 32 |
| 壁取り付け(オプション)..... | 33 |
| モニターの操作..... | 34 |
| モニターの電源をオンにする..... | 34 |
| 言語オプション..... | 34 |
| フロントパネルコントロールの使用..... | 35 |
| OSDコントロール..... | 36 |
| オンスクリーンディスプレイ(OSD)メニューの使用..... | 37 |
| メニューシステムにアクセス..... | 37 |
| OSD 警告メッセージ..... | 48 |
| モニターの設定..... | 51 |
| 最大解像度の設定..... | 51 |
| 傾き、スイベル、垂直延長を使用する..... | 52 |
| 傾き、スイベル..... | 52 |
| 垂直延長..... | 52 |
| モニターの回転..... | 53 |
| トラブルシューティング..... | 55 |
| セルフテスト..... | 55 |
| ビルトイン診断..... | 57 |
| 共通の問題..... | 58 |
| 製品固有の問題..... | 60 |



| | |
|--|-----|
| ユニバーサルシリアルバス (USB) 固有の問題 | .60 |
| 付録 | 61 |
| 安全上の注意 | .61 |
| FCC 通知 (米国のみ) およびその他の規制情報 | .61 |
| Dell に連絡 | .62 |

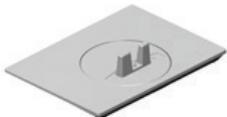


お使いのモニターについて

パッケージ内容

モニターには、以下の表に示されるコンポーネントが付属しています。いずれかのコンポーネントが欠落している場合は、Dell 技術サポートに連絡してください。詳細については、[Dell に連絡](#)を参照してください。

 注意：一部の品目はオプションで、モニターには同梱されていないことがあります。ご使用の国によっては、一部の機能またはメディアが利用できないことがあります。

| | |
|---|--------------------|
|  | モニター |
|  | スタンドライザー |
|  | スタンド台 |
|  | 電源ケーブル（国によって異なります） |



| | |
|---|---|
|  | <p>VGA ケーブル</p> |
|  | <p>DP ケーブル</p> |
|  | <p>USB 3.0 アップストリームケーブル(モニターの USB ポートを有効にします)</p> |
|  | <ul style="list-style-type: none"> • ドライバーと説明書メディア • クイックセットアップガイド • 安全および規制情報 |



製品の特徴

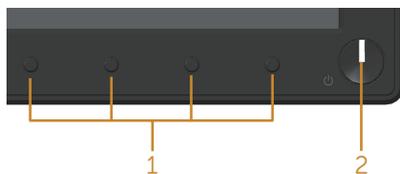
Dell P2018H 平面パネルディスプレイには、アクティブマトリクス方式、薄膜トランジスタ (TFT)、液晶ディスプレイ (LCD)、LED バックライトが搭載されています。モニターの特徴は次のとおりです。

- P2018H: 49.5 cm (19.5 インチ) の表示可能領域のディスプレイ (対角で測定)。解像度 1600 x 900、さらに低解像度のフルスクリーンをサポートします。
- プラグアンドプレイ機能 (システムでサポートされている場合)。
- VGA、HDMI および DisplayPort による接続。
- 1xUSB アップストリームポートおよび 2xUSB2.0/2xUSB3.0 ダウンストリームポートが付属しています。
- 簡単な設定と画面の最適化を行うためのオンスクリーンディスプレイ (OSD) 調整。
- ソフトウェアおよび説明書メディアに、情報ファイル (INF)、画像カラーマッチングファイル (ICM)、製品説明書を含む。
- Dell ディスプレイマネージャーソフトウェア (モニターに付属の CD に入っています)。
- セキュリティケーブルスロット。
- 傾き、スイベル、高さおよび回転調整機能。
- 取り外し可能なスタンドと VESA ™ (ビデオエレクトロニクススタンダードアソシエーション) 100mm 取り付け穴により、柔軟な取り付けが可能。
- スリープモード時、0.3 W スタンバイ電源。
- ちらつき防止画面により目にとって心地よい環境を作ります。
- モニターからの青色光放射の潜在的な長期的な影響により、眼の疲れまたはデジタル眼精疲労を含む、目に対する損傷を引き起こす可能性があります。ComfortView 機能は、モニターから放射される青色光の量を低減し、目にとって心地よい環境を作ります。



部品とコントロールの識別

前面ビュー

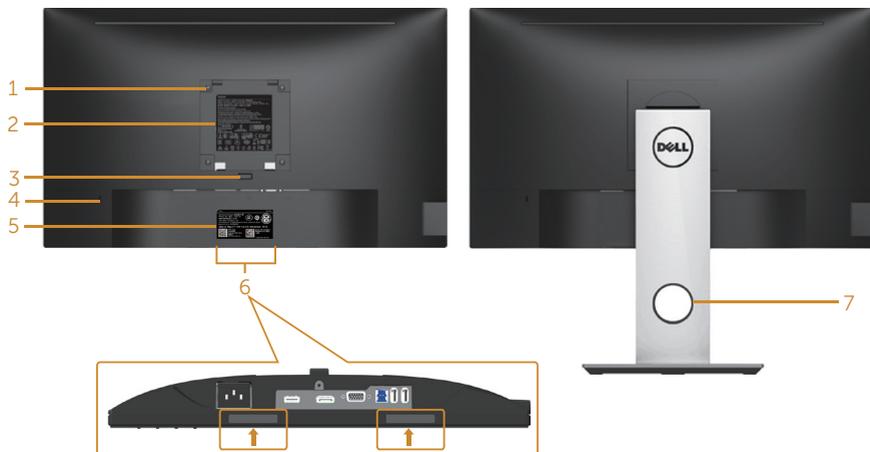


フロントパネルコントロール

| ラベル | 説明 |
|-----|---|
| 1 | 機能ボタン(詳細については、 モニターの操作 を参照してください) |
| 2 | 電源オン/オフボタン(LED ランプあり) |



背面ビュー



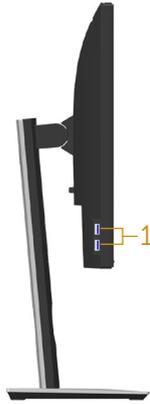
モニタースタンドを取り付けていない
状態の背面ビュー

モニタースタンドを取り付けた状態の
背面ビュー

| ラベル | 説明 | 用途 |
|-----|---|---|
| 1 | VESA 取り付け穴 (100 mm x 100 mm - VESA カバーの後ろに配置) | VESA 互換の壁取り付けキット (100 mm x 100 mm) を使用したモニターの壁掛け。 |
| 2 | 規制ラベル | 規制承認を一覧表示。 |
| 3 | スタンドリリースボタン | モニターからスタンドを解除します。 |
| 4 | セキュリティロックスロット | セキュリティロックでモニターを固定します (別売り)。 |
| 5 | バーコード、シリアル番号とサービスタグラベル | 技術サポートを受けるために Dell に連絡する際に、このラベルを参照。 |
| 6 | Dell サウンドバー取り付けスロット | オプションの Dell サウンドバーを取り付けます。  注意: Dell サウンドバーを取り付ける前に、取り付けスロットをカバーするプラスチック製ストリップを取り外してください。 |
| 7 | ケーブル管理スロット | スロットを通して配置することで、ケーブルをまとめるために使用します。 |



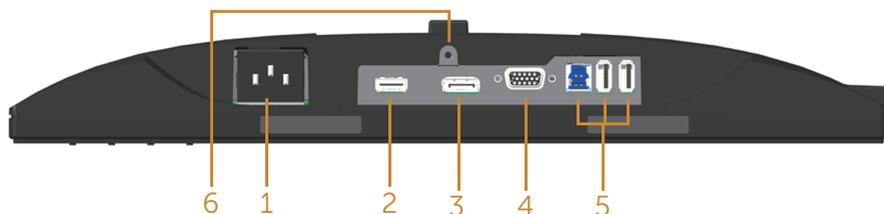
側面ビュー



| ラベル | 説明 | 用途 |
|-----|-----------------|--|
| 1 | USB ダウンストリームポート | USB デバイスを接続。  注意: このポートを使用するには、USB ケーブル (モニターに同梱) をモニターの USB アップストリームとコンピューターに接続する必要があります。 |



底面ビュー



モニタースタンドを取り付けていない状態の底面ビュー

| ラベル | 説明 | 用途 |
|-----|-----------------------------------|---|
| 1 | 電源ポート | 電源ケーブルを接続。 |
| 2 | HDMI ポート | コンピューターを HDMI ケーブル(オプション)で接続します。 |
| 3 | DP ポート | コンピューターとモニターを DP ケーブルを使用して接続します。 |
| 4 | VGA ポート | コンピューターを VGA ケーブルで接続。 |
| 5 | USB コネクタ(2x ダウンストリーム、1x アップストリーム) | モニターに付属する USB ケーブルをコンピューターに接続。ケーブルが接続されたら、背面の USB コネクタとモニターの底面を使用することができます。 |
| 6 | スタンドロック機能 | M3 x 6mm ねじを使用して、モニターにスタンドをロック(ねじは含まず)。 |



モニターの様

| | |
|-----------------------|--|
| モデル | P2018H |
| スクリーンタイプ | アクティブマトリクス - TFT LCD |
| パネルタイプ | TN (ねじれネマティック) |
| 表示可能画像 | |
| 対角 | 494.11 mm (19.45 インチ) |
| 水平、アクティブエリア | 433.92 mm (17.08 インチ) |
| 垂直、アクティブエリア | 236.34 mm (9.30 インチ) |
| 領域 | 1,025.53 cm ² (158.96 インチ ²) |
| ピクセルピッチ | 0.271 mm x 0.263 mm |
| インチあたりのピクセル (PPI) | 94 |
| 視野角 (垂直 / 水平) | 160° (垂直) 標準値 170° (水平) 標準値 |
| 輝度 | 250cd/m ² (標準値) |
| コントラスト比 | 1000: 1 (標準値) 400 万: 1 (標準値) |
| アスペクト比 | 16:9 |
| ディスプレイ画面のコーティング | 硬度 3H の反射防止処理 |
| バックライト | 白色 LED エッジライト方式 |
| 応答時間 | 5 ms (黒から白) |
| 色深度 | 1670 万色 |
| 色サポート | 84% (CIE 1976)、72% (CIE 1931) |
| ビルトインデバイス | USB 3.0 超高速ハブ (1xUSB 3.0 アップストリームポート、2xUSB 3.0 ダウンストリームポートおよび 2xUSB2.0 ダウンストリームポートを搭載) |
| Dell ディスプレイマネージャーの互換性 | はい |



| | |
|----------------------------|--|
| 接続 | 1xDP (バージョン 1.2) 1xHDMI (バージョン 1.4) 1xVGA 1xUSB3.0 ポート - アップストリーム 2xUSB3.0 ポート - 側面 2xUSB2.0 ポート - 底面 |
| 境界部分(モニターの端からアクティブエリアまでの幅) | 18.1mm (上) 13.8mm (左 / 右) 18.8mm (下) |
| セキュリティ | セキュリティロックスロット(ケーブルロックは別売りです) |
| 調整可能 | 高さ調整可能スタント (130mm) 傾き (5° / 21°) スイベル (45°) ピボット (90°) |

解像度の仕様

| | |
|------------|-----------------------|
| モデル | P2018H |
| 水平走査範囲 | 30 kHz から 83 kHz (自動) |
| 垂直走査範囲 | 56 Hz から 76 Hz (自動) |
| 最大プリセット解像度 | 1600 x 900、60Hz |

ビデオのサポートモード

| | |
|------------------------------|--|
| モデル | P2018H |
| ビデオ表示機能 (VGA、HDMI および DP 再生) | 480i, 480p, 576i, 576p, 720p, 1080i, 1080p |



プリセットディスプレイモード

| ディスプレイモード | 水平周波数 (kHz) | 垂直周波数 (Hz) | 周波数 (MHz) | 同期極性 (水平 / 垂直) |
|------------------|-------------|------------|-----------|----------------|
| VESA, 720 x 400 | 31.5 | 70.1 | 28.3 | -/+ |
| VESA, 640 x 480 | 31.5 | 60.0 | 25.2 | -/- |
| VESA, 640 x 480 | 37.5 | 75.0 | 31.5 | -/- |
| VESA, 800 x 600 | 37.9 | 60.3 | 40.0 | +/+ |
| VESA, 800 x 600 | 46.9 | 75.0 | 49.5 | +/+ |
| VESA, 1024 x 768 | 48.4 | 60.0 | 65.0 | -/- |
| VESA, 1024 x 768 | 60.0 | 75.0 | 78.8 | +/+ |
| VESA, 1152 x 864 | 67.5 | 75.0 | 108.0 | +/+ |
| VESA, 1600 x 900 | 60.0 | 60.0 | 108.0 | +/+ |

電氣的仕様

| | |
|--------------------|--|
| モデル | P2018H |
| ビデオ入力信号 | <ul style="list-style-type: none"> アナログ RGB、0.7 ボルト、+/-5%、75Ω 入力インピーダンスで肯定極性 HDMI 1.4、各差動線路毎に 600mV、差動ペアあたり 100 オーム入力インピーダンス DisplayPort 1.2**、各差動線路毎に 600mV、差動ペアあたり 100 オーム入力インピーダンス |
| AC 入力電圧 / 周波数 / 電流 | 100VAC から 240VAC/50Hz または 60Hz ± 3Hz / 1.5A (標準値) |
| 突入電流 | <ul style="list-style-type: none"> 120 V: 30 A (最大) 0°C で (コールドスタート) 240 V: 60 A (最大) 0°C で (コールドスタート) |



物理特性

| | |
|-----------------------|---|
| モデル | P2018H |
| シグナルケーブルタイプ | <ul style="list-style-type: none"> ● デジタル:取り外し可能、HDMI、19 ピン。 ● デジタル:取り外し可能、DP、20 ピン。 ● アナログ:取り外し可能、D-Sub、15 ピン ● ユニバーサルシリアルバス: USB、9 ピン |
| 寸法(スタンド付き) | |
| 高さ(引き伸ばし時) | 468.8 mm (18.46 インチ) |
| 高さ(圧縮) | 338.8 mm (13.34 インチ) |
| 幅 | 461.5 mm (18.17 インチ) |
| 奥行き | 180.0 mm (7.09 インチ) |
| 寸法(スタンドなし) | |
| 高さ | 273.2 mm (10.76 インチ) |
| 幅 | 461.5 mm (18.17 インチ) |
| 奥行き | 50.1 mm (1.97 インチ) |
| スタンド寸法 | |
| 高さ(引き伸ばし時) | 400.8 mm (15.78 インチ) |
| 高さ(圧縮) | 354.4 mm (13.95 インチ) |
| 幅 | 242.6 mm (9.55 インチ) |
| 奥行き | 180.0 mm (7.09 インチ) |
| 重量 | |
| 重量(パッケージを含む) | 6.13 kg (13.51 lb) |
| 重量(組み立てスタンドとケーブルを含む) | 4.73 kg (10.42 lb) |
| 組み立てスタンドなしの重量(ケーブルなし) | 2.40 kg (5.29 lb) |
| 組み立てスタンドの重量 | 1.90 kg (4.19 lb) |
| フロントフレーム(ツヤあり) | 2 - 4 |



環境特性

| | |
|---|--|
| モデル | P2018H |
| 準拠する標準 | |
| <p>Energy Star 認定モニターの省エネ機能 U.S. EPEAT に登録されている EPEAT Gold は国により異なります。 国別の登録状況については、www.epeat.net をご覧ください。 TCO 認定ディスプレイ BFR/PVC のないモニター (外部ケーブルを除く)。 エネルギーゲージにより、モニターが消費しているエネルギーレベルをリアルタイムで表示。</p> | |
| 温度 | |
| 運転時 | 0°C ~ 40°C (32° F ~ 104° F) |
| 非運転時 | <ul style="list-style-type: none"> ● 保管時: -20° C ~ 60° C (-4° F ~ 140° F) ● 輸送時: -20° C ~ 60° C (-4° F ~ 140° F) |
| 湿度 | |
| 相対湿度 | <ul style="list-style-type: none"> ● 運転時: 10% ~ 80% (結露しない) ● 保管時: 5% ~ 90% (結露しない) ● 輸送時: 5% ~ 90% (結露しない) |
| 高度 | |
| 運転時 (最大) | 5,000 m (16,400 ft) |
| 非運転時 (最大) | 12,192 m (40,000 ft) |
| 熱出力 | ● 143.4 BTU/ 時 (最大) |
| | ● 47.8 BTU/ 時 (標準) |



電源管理モード

お使いの PC に VESA の DPM™ 準拠ディスプレイカードまたはソフトウェアがインストールされている場合、モニターは使用中でないときには、自動的に消費電源を低減します。この機能は、省電力モードと呼ばれます*。コンピューターがキーボード、マウス、その他の入力デバイスからの入力を検出すると、モニターは自動的に機能を再開します。次の表は消費電力とこの自動省電力機能の信号を示しています。

* OFF モードのゼロ電力消費は、モニターからメインケーブルを切断した場合のみ達成できます。

| VESA モード | 水平同期 | 垂直同期 | ビデオ | 電源ランプ | 電力消費 |
|------------|------|------|-----|----------|-----------------------------------|
| 通常動作 | 有効 | 有効 | 有効 | 白 | 42 W (最大)** 14 W (標準、USB 負荷無し) |
| アクティブオフモード | 無効 | 無効 | 空白 | 白 (淡い点灯) | 0.3W 以下 |
| スイッチオフ | - | - | - | オフ | 0.3W 以下 |

| Energy Star | 電力消費 |
|-------------|----------|
| P_{on} | 13 W |
| E_{TEC} | 41.7 kWh |

** 最大輝度で最大電力消費となります。

本書は情報提供のみを目的としており、実験室での性能を提示しています。注文されたソフトウェア、コンポーネント、周辺機器によっては製品の性能が変わることがあります。そのような情報を更新する義務は製品にありません。そのため、電気的な許容範囲またはそれ以外について意志決定を行うとき、本書の情報に依存しないでください。精度と完全性については、明示的にも暗示的にも何の保証もありません。





 注意：このモニターは ENERGY STAR 認定です。

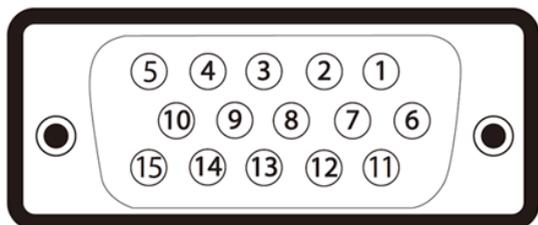
 注意：

P_{on} ：Energy Star 7.0 版に定義されているオンモード時の電力消費。

E_{TEC} ：Energy Star 7.0 版に定義されている合計エネルギー消費 (KWh 単位)。



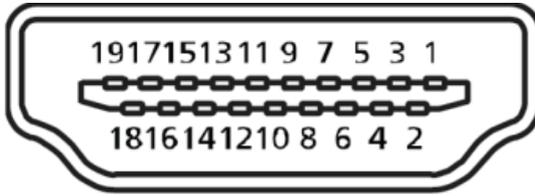
ピン割り当て
VGA コネクター



| ピン番号 | 接続された信号ケーブルの 15 ピン側 |
|------|---------------------|
| 1 | ビデオ赤 |
| 2 | ビデオ緑 |
| 3 | ビデオ青 |
| 4 | GND |
| 5 | セルフテスト |
| 6 | GND-R |
| 7 | GND-G |
| 8 | GND-B |
| 9 | コンピューター 5V/3.3V |
| 10 | GND-sync |
| 11 | GND |
| 12 | DDC データ |
| 13 | H-sync |
| 14 | V-sync |
| 15 | DDC クロック |



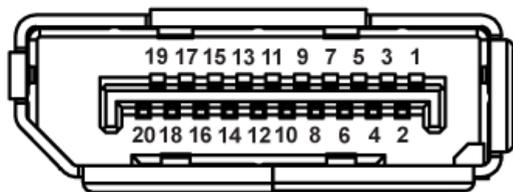
HDMI コネクター



| ピン番号 | 接続された信号ケーブルの 19 ピン側 |
|------|---------------------|
| 1 | T.M.D.S. データ 2+ |
| 2 | T.M.D.S. データ 2 シールド |
| 3 | T.M.D.S. データ 2- |
| 4 | T.M.D.S. データ 1+ |
| 5 | T.M.D.S. データ 1 シールド |
| 6 | T.M.D.S. データ 1- |
| 7 | T.M.D.S. データ 0+ |
| 8 | T.M.D.S. データ 0 シールド |
| 9 | T.M.D.S. データ 0- |
| 10 | T.M.D.S. クロック + |
| 11 | T.M.D.S. クロックシールド |
| 12 | T.M.D.S. クロック - |
| 13 | CEC |
| 14 | 未使用 (デバイスに無接続) |
| 15 | SCL |
| 16 | SDA |
| 17 | DDC/CEC 接地 |
| 18 | +5V 電源 |
| 19 | ホットプラグ検出 |



DisplayPort コネクター



| ピン番号 | 接続された信号ケーブルの 20 ピン側 |
|------|---------------------|
| 1 | ML_Lane 3 (n) |
| 2 | GND |
| 3 | ML_Lane 3 (p) |
| 4 | ML_Lane 2 (n) |
| 5 | GND |
| 6 | ML_Lane 2 (p) |
| 7 | ML_Lane 1 (n) |
| 8 | GND |
| 9 | ML_Lane 1 (p) |
| 10 | ML_Lane 0 (n) |
| 11 | GND |
| 12 | ML_Lane 0 (p) |
| 13 | CONFIG1 |
| 14 | CONFIG2 |
| 15 | AUX CH (p) |
| 16 | GND |
| 17 | AUX CH (n) |
| 18 | ホットプラグ検出 |
| 19 | リターン |
| 20 | DP_PWR |



ユニバーサルシリアルバス (USB) インターフェイス

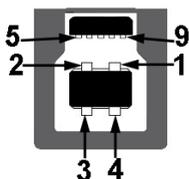
このセクションでは、モニターで使用できる USB ポートについて説明します。

 **注意:** このモニターは、超高速USB 3.0および高速USB 2.0互換です。

| 転送速度 | データ率 | 電力消費 * |
|------|----------|-----------------|
| 超高速 | 5 Gbps | 4.5 W (最大、各ポート) |
| 高速 | 480 Mbps | 4.5 W (最大、各ポート) |
| 全速度 | 12 Mbps | 4.5 W (最大、各ポート) |

| 転送速度 | データ率 | 電力消費 * |
|------|----------|-----------------|
| 高速 | 480 Mbps | 2.5 W (最大、各ポート) |
| 全速度 | 12 Mbps | 2.5 W (最大、各ポート) |
| 低速 | 1.5 Mbps | 2.5 W (最大、各ポート) |

USB 3.0 アップストリームコネクタ



| ピン番号 | コネクタの 9 ピン側 |
|------|-------------|
| 1 | VCC |
| 2 | D- |
| 3 | D+ |
| 4 | GND |
| 5 | SSTX- |
| 6 | SSTX+ |
| 7 | GND |
| 8 | SSRX- |
| 9 | SSRX+ |

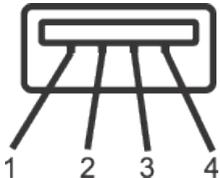


USB 3.0 ダウンストリームコネクタ



| ピン番号 | コネクタの 9 ピン側 |
|------|-------------|
| 1 | VCC |
| 2 | D- |
| 3 | D+ |
| 4 | GND |
| 5 | SSRX- |
| 6 | SSRX+ |
| 7 | GND |
| 8 | SSTX- |
| 9 | SSTX+ |

USB2.0 ダウンストリームコネクタ



| ピン番号 | コネクタの 4 ピン側 |
|------|-------------|
| 1 | VCC |
| 2 | DMD |
| 3 | DPD |
| 4 | GND |



USB ポート

- 1xUSB 3.0アップストリーム - 底面
- 2xUSB 3.0ダウンストリーム - 底面
- 2xUSB 3.0ダウンストリーム - 側面

 注意: USB 3.0 機能には USB 3.0 対応のコンピューターが必要です。

 注意: モニターの USB インターフェイスは、モニターがオンのとき、または省電力モード時にのみ作動します。モニターをオフにしてから再びオンにすると、接続された周辺機器は数秒後に通常の機能を回復します。



プラグアンドプレイ機能

任意のプラグアンドプレイ互換システムに、モニターをインストールすることができます。モニターがディスプレイデータチャンネル (DDC) プロトコルを使用して、コンピューターシステムに拡張ディスプレイ識別データ (EDID) を自動的に提供するため、システムによる自己設定およびモニター設定の最適化が可能です。ほとんどのモニターインストールは自動で行われます。必要に応じて異なる設定を選択できます。モニター設定の変更の詳細については、[モニターの操作](#)を参照してください。

LCDモニター品質とピクセルポリシー

LCD モニターの製造プロセスにおいて、いくつかのピクセルが特定の状態に固定されることはよくあります。これらの固定ピクセルは見つけにくく、表示品質や使い勝手に影響しません。Dell モニター品質とピクセルポリシーについての詳細は、Dell サポートサイト: www.dell.com/support/monitors。

お手入れのガイドライン

モニターの清掃

⚠ 危険: モニターを清掃する前に、コンセントからモニターの電源ケーブルを抜いてください。

⚠ 警告: モニターを清掃する前に、[安全上の注意](#)を読んで、これに従ってください。

モニターの開梱、清掃、取り扱いの際には、次の一覧にある手順に従うことを推奨します。

- 静電防止スクリーンを清掃するには、柔らかい清潔な布を水で軽く湿らせませす。できれば、スクリーン清掃専用のティッシュまたは静電防止コーティング専用の洗剤を使用してください。ベンジン、シンナー、アンモニア、研磨クリーナー、圧縮空気は使用しないでください。
- モニターの清掃には、ぬるま湯で軽く湿らせた布を使用します。乳状のフィルムがモニターの表面に残ることがあるので、洗剤は使用しないでください。
- モニターを開梱する際、白い粉があった場合には、布で拭いてください。
- モニターは注意して取り扱ってください。黒い色のモニターは引っ掻くと白い擦り傷が残り、明るい色のモニターより目立ちます。
- モニターの画像品質を最高の状態に維持するために、動的に変化するスクリーンセーバーを使用し、使用しないときにはモニターの電源を切ってください。



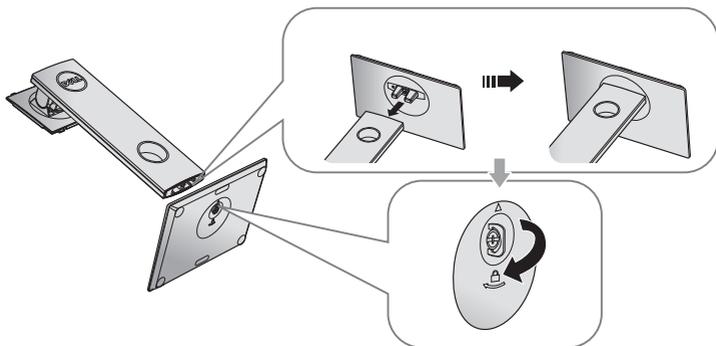
モニターの設定

スタンドの取り付け

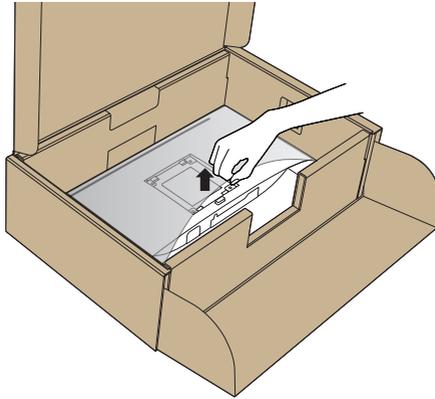
- 注意: 工場からモニターが出荷される際には、スタンドは取り外されています。
- 注意: これはスタンド付モニターについての説明です。サードパーティ製スタンドをご購入された場合、セットアップ指示についてはそれぞれのスタンドセットアップガイドを参照してください。

モニタースタンドを取り付けるには。

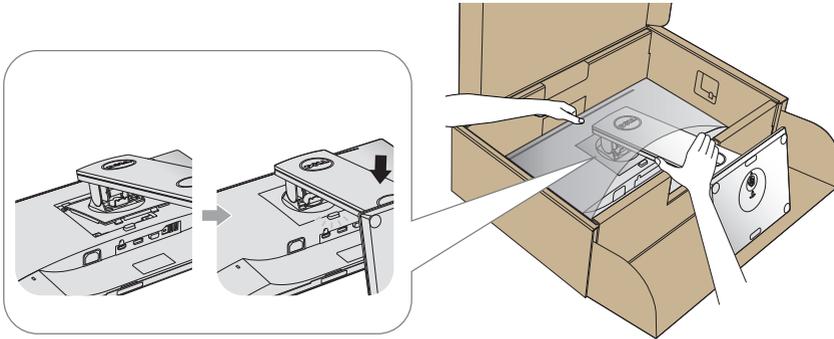
1. カートンのフラップ上の指示に従い、固定する上部クッションからスタンドを取り外します。
2. スタンド台ブロックを完全にスタンドスロットに差し込みます。
3. ねじハンドルを持ち上げ、ねじを時計回りに回します。
4. ねじを完全に締め付けた後で、ねじハンドルを凹み内で平らに曲げます。



5. 図に示す通り、カバーを持ち上げ、スタンドアセンブリ用の VESA 領域を露出します。



6. 組み立てたスタンドをモニターに取り付けます。
- a. スタンド上部の 2 つのつまみをモニター背面の溝に合わせます。
 - b. スタンドが所定の位置にはめ込まれるまで下に押しします。



7. モニターを真っ直ぐに置きます。

 注意: モニターが滑ったり、落下したりしないよう、慎重に持ち上げます。



モニターの接続

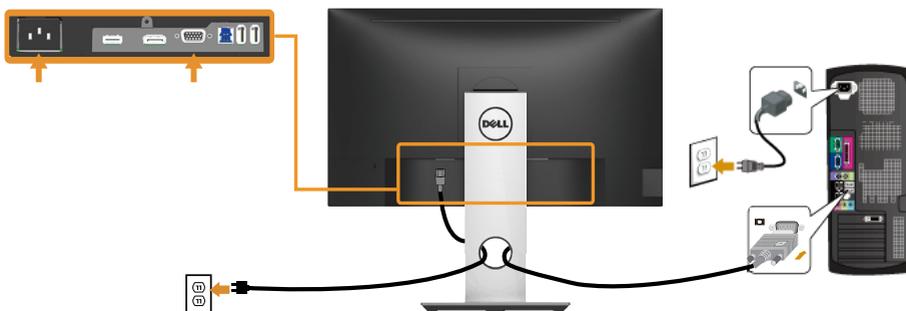
⚠ 危険: このセクションの手順を実施する前に、[安全上の注意](#)に従ってください。

📌 注意: すべてのケーブルを同時にコンピューターに接続しないでください。ケーブルをモニターに接続する前に、ケーブル管理スロットに通すことをお勧めします。

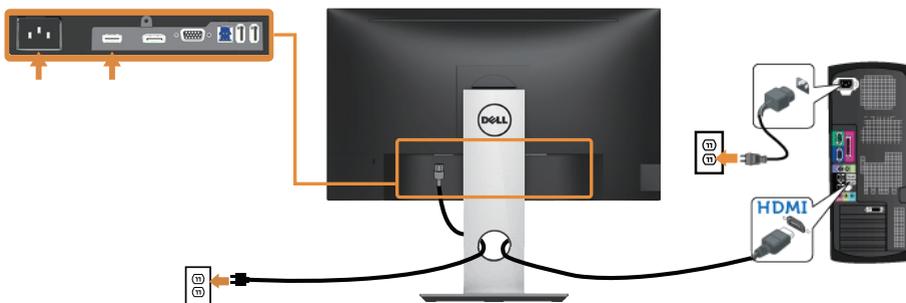
モニターをコンピューターに接続するには:

1. コンピューターの電源を切り、電源ケーブルを切断します。
2. VGA、HDMI または DP ケーブルをモニターからコンピューターに接続します。

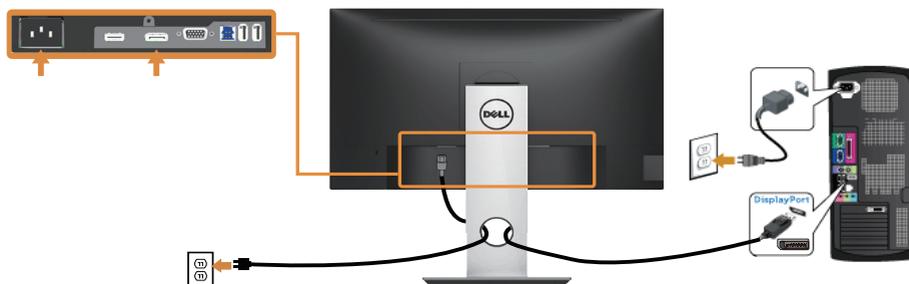
VGA ケーブルの接続



HDMI ケーブルの接続(オプション)



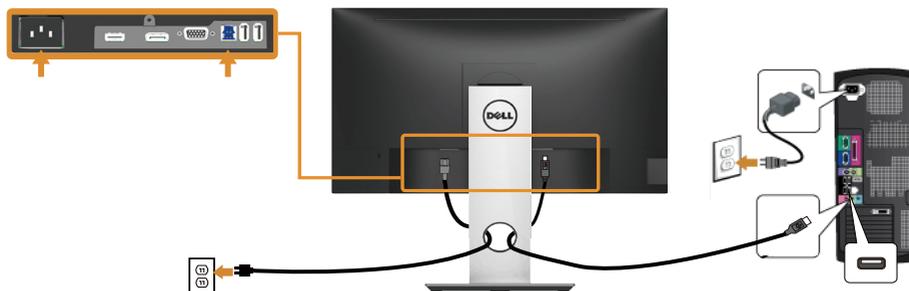
DP ケーブルの接続



USB 3.0 ケーブルの接続

DP/HDMI ケーブルの接続を完了したら、以下の手順に従って USB 3.0 ケーブルをコンピューターに接続し、モニターのセットアップを完了してください。

1. アップストリーム USB 3.0 ポート (付属のケーブル) をコンピューターの適切な USB 3.0 ポートに接続します。(詳細は、[底面ビュー](#)を参照してください。)
2. USB 3.0 周辺機器をモニターのダウンストリーム USB 3.0 ポートに接続します。
3. コンピューターとモニターの電源ケーブルを近くのコンセントに差し込みます。
4. モニターとコンピューターの電源をオンにします。
モニターに画像が表示されたら、インストールは完了です。画像が表示されない場合は、[ユニバーサルシリアルバス\(USB\)固有の問題](#)を参照してください。
5. モニタースタンドのケーブルスロットを使ってケーブルを整理してください。



ケーブルを整理する

ケーブル管理スロットを使って、モニターに接続したケーブルを整理します。

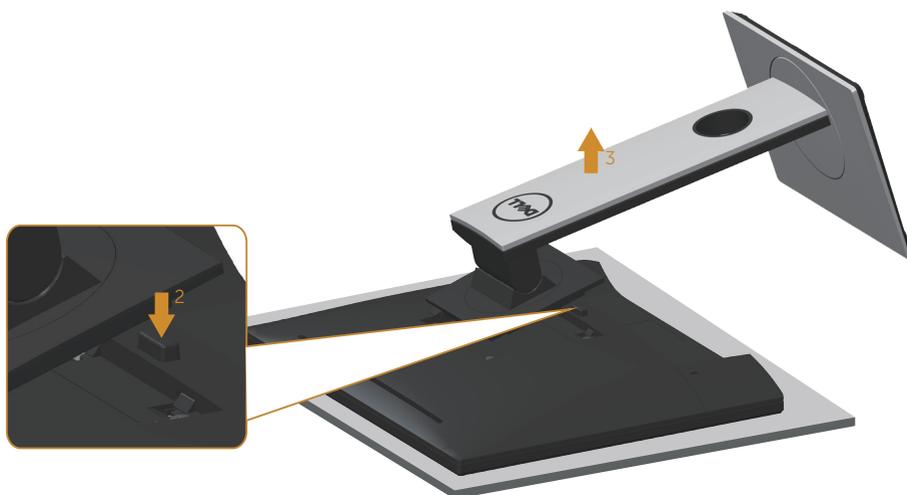


モニタースタンドの取り外し

- 注意: スタンドを取り外している間に LCD 画面に傷が付かないように、モニターを柔らかい、きれいな面に置いていることを確認してください。
- 注意: これは、スタンド付きモニターに適用されます。他のスタンドをご購入された場合、セットアップ指示についてはそれぞれのスタンドセットアップガイドを参照してください。

スタンドを取り外すには:

1. モニターを柔らかい布またはクッションの上に置きます。
2. スタンドのリリースボタンを押し続けます。
3. スタンドを持ち上げ、モニターから離します。



壁取り付け(オプション)



(ねじ寸法: M4 x 10 mm)。

VESA 互換の壁取り付けキットに付属する指示を参照してください。

1. モニターパネルを、柔らかい布またはクッションを敷いた安定した平らなテーブルの上に置きます。
2. 台を取り外します。
3. ドライバーを使って、プラスチックカバーを固定している 4 つのねじを外します。
4. 壁取り付けキットの取り付けブラケットをモニターに取り付けます。
5. 壁取り付けキットに付属する取扱説明書に従って、壁にモニターを取り付けます。

 **注意:** 9.6 kg の最小重量 / 荷重負担能力のある、UL、CSA または GS 規格認定取得済みの壁取り付けブラケットのみを使用してください。



モニターの操作

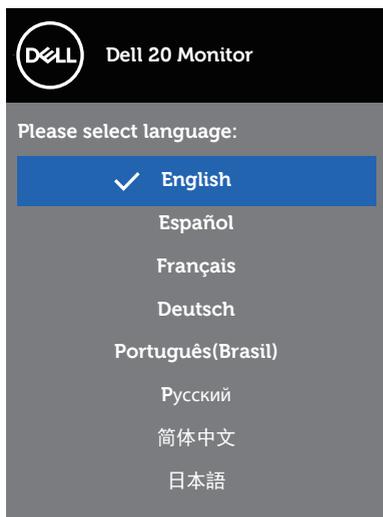
モニターの電源をオンにする

モニターの電源を入れるには  ボタンを押します。



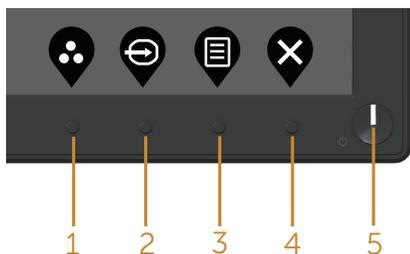
言語オプション

OSD ディスプレイを 8 つの言語のいずれかに設定します。



フロントパネルコントロールの使用

モニターの設定を調整するには、モニターの前面にあるコントロールボタンを使用します。



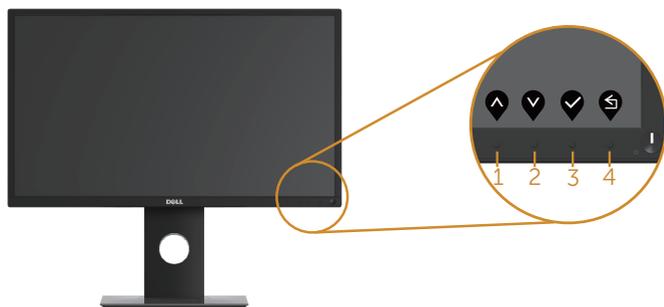
以下の表は、フロントパネルのボタンについてまとめたものです。

| フロントパネルのボタン | 説明 |
|---|---|
| 1  ショートカットキー / プリセットモード | プリセットモードの一覧から選ぶには、このボタンを使用します。 |
| 2  ショートカットキー / 入力信号 | モニターに接続された異なるビデオ信号間を選択するには、入力信号メニューを使用します。 |
| 3  メニュー | オンスクリーンディスプレイ (OSD) の起動時に、メニューボタンを使用して、OSD メニューを選択します。 メニューシステムにアクセス を参照してください。 |
| 4  終了 | このボタンを使用してメインメニューに戻るか、OSD メインメニューを終了します。 |
| 5  電源オン / オフボタン (LED ランプあり) | 電源ボタンを使用して、モニターの電源のオン / オフを切り替えます。 白いライトが点灯しているときには、モニターがオンであることを示しています。白いライトの点滅は、省電力モードに入っていることを示しています。 |



OSDコントロール

画像の設定を調整するには、モニターの前面にあるボタンを使用します。



| | フロントパネルの ボタン | 説明 |
|---|---|--------------------------------------|
| 1 |  上 | メニューで値を増やしたり、上に移動したりするには、上ボタンを使用します。 |
| 2 |  下 | メニューで値を減らしたり、下に移動したりするには、下ボタンを使用します。 |
| 3 |  OK | メニューで選択を確定するには、OK ボタンを使用します。 |
| 4 |  戻る | 前のメニューに戻るには、戻るボタンを使用します。 |



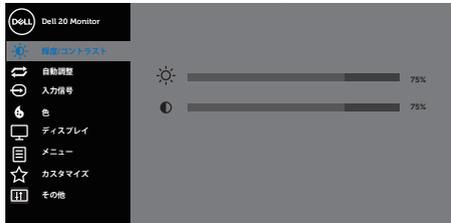
オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューの使用

メニューシステムにアクセス

 注意: 別のメニューに移動するか、OSD メニューを終了するか、OSD メニューが自動的に閉じられると、それまでの変更内容が自動的に保存されます。

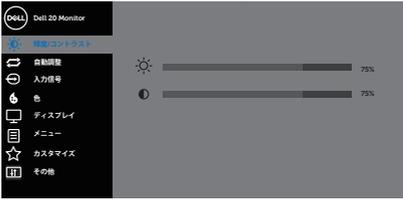
1. OSD メインメニューを表示するには、 ボタンを押します。

デジタル (VGA/HDMI/DP) 入力用のメインメニュー



2.  と  ボタンを押して、設定オプション間を移動します。別のアイコンに移動すると、オプション名がハイライトされます。
3.  ボタンを一度押すと、ハイライトされたオプションが有効になります。
4.  と  ボタンを押して、目的のパラメーターを選択します。
5.  を押し、メニューのインジケーターに従って  ボタンと  ボタンを使い変更を行います。
6.  ボタンを選択してメインメニューに戻ります。



| アイコン | メニューとサブメニュー | 説明 |
|--|----------------|---|
|  | 輝度 / コントラスト | <p>このメニューを使用して輝度 / コントラスト調整を有効にします。</p>  <div style="text-align: right;">     </div> |
| | 輝度 | <p>輝度は、バックライトの輝度を調整します。</p> <p>輝度を上げるには  ボタンを押します。輝度を下げるには  ボタンを押します (最小 0 / 最大 100)。</p> <p> 注意: 動的コントラストがオンになっているときには、手動で輝度を調整することはできません。</p> |
| | コントラスト | <p>まず、輝度を調整し、それでも調整が必要な場合のみコントラストを調整します。</p> <p> ボタンを押してコントラストを上げ、 ボタンを押してコントラストを下げます (最小 0 / 最大 100)。</p> <p>コントラスト機能は、モニターの画面の暗い部分と明るい部分の違いの程度を調整します。</p> |





自動調整

このキーは自動設定と調整メニューに使用します。



現在の入力に対するモニターの自己調整として、次のダイアログが黒い画面に表示されます。

自動調整中...

自動調整は、入力ビデオ信号に対するモニターの自己調整を可能にします。自動調整を使用後、ディスプレイ設定から周波数(粗い)とフェーズ(細かい)コントロールを使用して、モニターをさらに調整できます。

 **注意:** アクティブなビデオ入力信号がない場合、またはケーブルが接続されていない間にボタンを押すと、自動調整は行われません。

このオプションはアナログ (VGA) コネクタを使用している場合のみ利用できます。



| | | |
|--|------------------|---|
|  | <p>入力信号</p> | <p>モニターに接続された異なるビデオ信号間を選択するには、入力信号メニューを使用します。</p>  |
| | <p>VGA</p> | <p>アナログ (VGA) コネクタを使用している場合は、VGA 入力を選択します。▼を押して、VGA 入力信号を選択します。</p> |
| | <p>DP</p> | <p>DP コネクタを使用している場合は、DP 入力を選択します。▼を押して、DP 入力信号を選択します。</p> |
| | <p>HDMI</p> | <p>HDMI コネクタを使用している場合は、HDMI 入力を選択します。▼を押して、HDMI 入力ソースを選択します。</p> |
| | <p>自動選択</p> | <p>利用可能な入力信号をスキャンするには自動選択を選択します。</p> |
| | <p>入力信号のリセット</p> | <p>デフォルトの入力信号に戻すには、このオプションを選択します。</p> |
|  | <p>色</p> | <p>色を使って色設定モードを調整します。</p>  |



プリセットモード

プリセットモードを選択すると、リストから標準、ComfortView、マルチメディア、ムービー、ゲーム、暖色、寒色、またはユーザーカラーを選択できます。

- 標準：モニターのデフォルトカラー設定を読み込みます。これはデフォルトのプリセットモードです。
- ComfortView：画面から放射される青色光レベルを低減し、目のために、より快適に閲覧できるようします。

 注意：ちらつき防止画面により目にとって心地よい環境を作ります。

 警告：モニターからの青色光放射の潜在的な長期的な影響により、眼の疲れまたはデジタル眼精疲労を含む、目に対する損傷を引き起こす可能性があります。[安全上の注意](#)を参照してください。

- ムービー：ムービーに適したカラー設定を読み込みます。
- ゲーム：ほとんどのゲームアプリケーションに適したカラー設定を読み込みます。
- 暖色：色温度を上げます。画面は赤 / 黄色の色合いを持つ暖かい表示になります。
- 寒色：色温度を下げます。画面は青の色合いを持つ涼しい表示になります。
- ユーザーカラー：手動で色設定を調整することができます。

 ボタンと  ボタンを押して 3 つの色 (R、G、B) 値を調整し、独自のプリセット色モードを作成します。



| | |
|----------------|--|
| <p>入力カラー形式</p> | <p>ビデオ入力モードを以下に設定可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> • RGB: モニターが HDMI ケーブルを使用してコンピューターや DVD プレイヤーと接続されている場合にこのオプションを選択します。 • YPbPr: お使いの DVD プレイヤーが YPbPr 出力のみをサポートしている場合にこのオプションを選択します。  |
| <p>色のリセット</p> | <p>モニターの色設定を工場出荷時の設定にリセットします。</p> |





ディスプレイ

ディスプレイを使用して画像を調整します。



アスペクト比

画像比をワイド 16:9、4:3 または 5:4 に調整します

水平位置

▲ボタンまたは▼ボタンを使用し、画像の左と右を合わせます。最小は 0 (-) です。最大は 100 (+) です。

垂直位置

▲ボタンまたは▼ボタンを使用し、画像の上と下を合わせます。最小は 0 (-) です。最大は 100 (+) です。

シャープネス

これは画像をシャープまたはソフトにする機能です。▲または▼を使用して、シャープネスを 0 ~ 100 の範囲で調整します。

周波数

フェーズと周波数調整で、モニターを好みに調整できます。▲または▼ボタンを使用して、最高の画像品質に調整します。

フェーズ

フェーズ調整を使用して満足な結果が得られないときは、周波数(粗い)調整を使用し、その後にフェーズ(細かい)をもう一度使用します。

動的コントラスト

コントラストレベルを高めて、よりシャープで鮮明な画質に仕上げます。

▶ボタンを使用して動的コントラストの「オン」または「オフ」を切り替えます。

 **注意:** 動的コントラストは、ゲームまたはムービーのプリセットモードを選択したときにより高いコントラストを実現します。

画面のリセット

このオプションを選択し、デフォルトのディスプレイ設定に戻します。





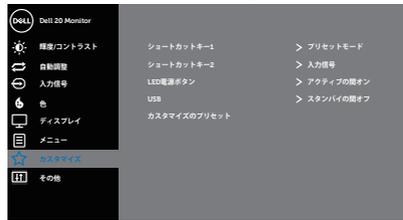
| | |
|-----------|---|
| メニュー | <p>OSD の言語、画面にメニューが表示される時間など、OSD 設定を調整するにはこのオプションを選択します。</p>  <p style="text-align: center;">▲ ▼ ▶ ✕</p> |
| 言語 | <p>言語オプションを使用して、OSD ディスプレイを 8 つの言語(English、Español、Français、Deutsch、Português (Brasil)、Русский、简体中文、日本語)のいずれかに設定します。</p> |
| 回転 | <p>OSD を 90 度左回りに回します。ディスプレイ回転に従ってメニューを調整できます。</p> |
| 透明度 | <p>このオプションを選択し、▲ボタンと▼ボタンを押してメニューの透過性 (0 ~ 100) を変更します。</p> |
| タイマー | <p>OSD 保持時間 : ボタンを最後に押してから OSD が有効になっている時間の長さを設定します。 ▲または▼を使用してスライダーを 5 ~ 60 秒まで、1 秒刻みで調整します。</p> |
| メニューのリセット | <p>すべての OSD 設定を工場出荷時のプリセット値にリセットします。</p> |





カスタマイズ

このオプションを選択して、カスタマイズ設定を調整します。



ショートカット キー 1

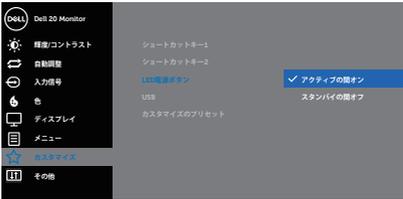
ユーザーは、プリセットモード、輝度 / コントラスト、自動調整、入力信号、アスペクト比、回転の中からいずれかを選択して、ショートカットキー 1 を設定できます。



ショートカット キー 2

ユーザーは、プリセットモード、輝度 / コントラスト、自動調整、入力信号、アスペクト比、回転の中からいずれかを選択して、ショートカットキー 2 を設定できます。



| | |
|---------------------|--|
| <p>LED 電源ボタン</p> | <p>電源 LED ランプをアクティブの間オンに、またはエネルギーを節約するためにアクティブの間オフに設定します。</p>  <p style="text-align: right;">▲ ▼ ✓ Ⓢ</p> |
| <p>USB</p> | <p>モニターがスタンバイモード時に、USB 機能の有効または無効の切り替えることができます。</p> <p> 注意: USB アップストリームケーブルが抜かれているとき、スタンバイモードでの USB オン / オフのみ利用できます。USB アップストリームケーブルが差し込まれている場合、オプションはグレー表示になります。</p>  <p style="text-align: right;">▲ ▼ ✓ Ⓢ</p> |
| <p>カスタマイズのプリセット</p> | <p>カスタマイズメニュー下のすべての設定をデフォルト設定にリセットします。</p> |



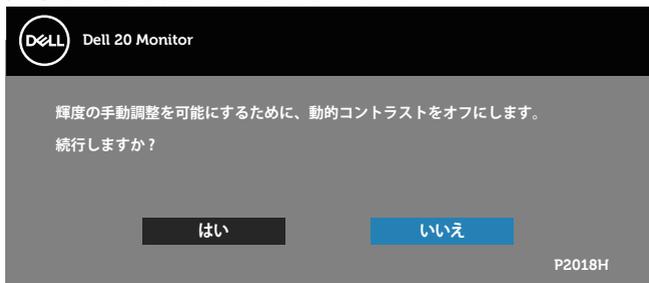
| | | |
|---|--|--|
|  | <p>その他</p> |  <p style="text-align: right;">▲ ▼ ▶ ✕</p> |
| | <p>ディスプレイ 情報</p> |  <p style="text-align: right;">▲ ▼ ✓ ⏏</p> |
| <p>DDC/CI</p> | <p>DDC/CI (ディスプレイデータチャンネル / コマンドインターフェイス) により、コンピューターのソフトウェアを介してモニターのパラメーター (輝度、色バランスなど) を調整できます。</p> <p>オフを選択することで、この機能を無効にできます。オンを選択し、この機能を有効化することで、ユーザー体験を最大限に高め、モニターのパフォーマンスを最適にすることができます。</p> |  <p style="text-align: right;">▲ ▼ ✓ ⏏</p> |
| <p>LCD コンディショニング</p> | <p>この機能により、残像の軽微な問題を低減することができます。残像の程度によっては、プログラムが実行されるまでに少し時間がかかることがあります。LCD コンディショニングを開始するには、オンを選択します。</p> | |
| <p>他をリセット</p> | <p>その他設定メニューの下にあるすべての設定を初期値に戻します。</p> | |
| <p>工場リセット</p> | <p>すべての設定を工場出荷時のプリセット値にリセットします。</p> | |



 **注意:** このモニターには自動的に輝度を調整してLEDの経年変化を補正する機能が内蔵されています。

OSD警告メッセージ

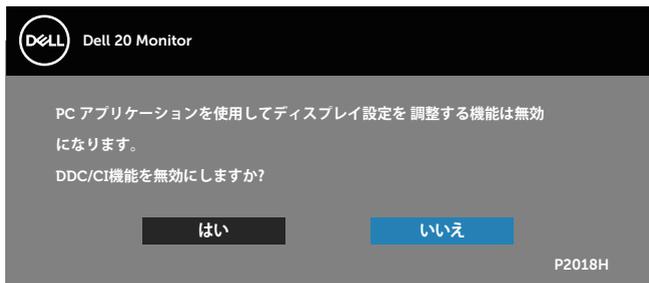
動的コントラスト機能が有効にされている場合(ゲームまたはムービーなどのプリセットモード)、手動輝度調整は無効になります。



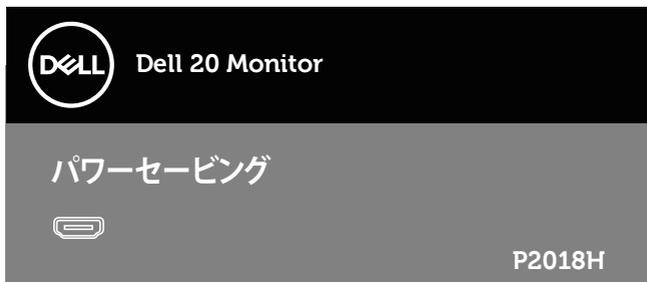
モニターが特定の解像度モードをサポートしない場合、次のメッセージが表示されます。



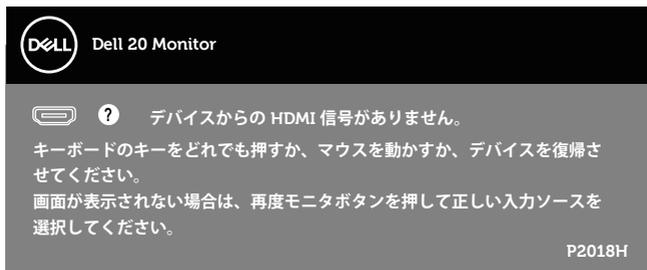
これはモニターがコンピューターから受け取る信号を同期できないことを意味しています。このモニターが対応している水平および垂直周波数幅については、「[モニターの仕様](#)」を参照してください。推奨モードは1600 x 900です。DDC/CI機能を無効にする前に、次のメッセージが表示されます。



モニターが省電力モードに入る際には、次のメッセージが表示されます。



電源ボタン以外の任意のボタンを押すと、選択した入力に応じて、次のメッセージが表示されます。



VGA、HDMI または DP ケーブルが接続されていない場合、下の画像のようなフローティングダイアログボックスが表示されます。この状態が続くと、モニターは 4 分後に省電力モードに入ります。



または

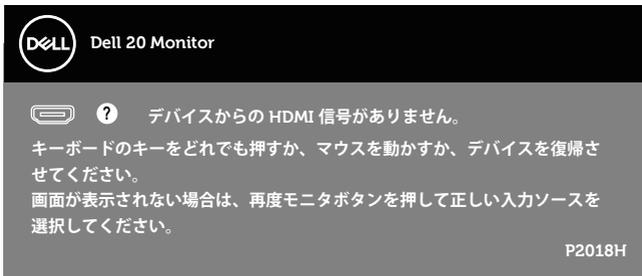




または



OSD は、通常動作モードでのみ機能します。アクティブオフモードで任意のボタンを押すと、次のメッセージが表示されます。



OSD にアクセスするには、コンピューターとモニターをアクティブにします。詳細については、[トラブルシューティング](#)を参照してください。



モニターの設定

最大解像度の設定

モニターを最大解像度に設定するには:

Windows® 7、Windows® 8、Windows® 8.1 の場合:

1. Windows 8と Windows 8.1 の場合、デスクトップタイルを選択してクラシックデスクトップに切り替えます。
2. デスクトップを右クリックし、画面解像度をクリックします。
3. 画面解像度のドロップダウンリストをクリックし、1600 x 900 を選択します。
4. OK をクリックします。

Windows® 10 の場合:

1. デスクトップを右クリックし、ディスプレイ設定をクリックします。
2. 詳細ディスプレイ設定をクリックします。
3. 解像度のドロップダウンリストをクリックし、1600 x 900 を選択します。
4. 適用をクリックします。

オプションとして 1600 x 900 が表示されない場合、グラフィックドライバーを更新する必要があります。お使いのコンピューターによって、次の手順のいずれかを完了します。

Dell デスクトップまたはポータブルコンピューターをお使いの場合:

- www.dell.com/supportに進み、コンピューターのサービスタグを入力し、グラフィックスカード用の最新ドライバーをダウンロードします。

Dell 以外のコンピューター (ポータブルまたはデスクトップ) をお使いの場合:

- お使いのコンピューターのサポートサイトに行き、最新のグラフィックドライバーをダウンロードします。
- お使いのグラフィックカードのWebサイトに行き、最新のグラフィックドライバーをダウンロードします。

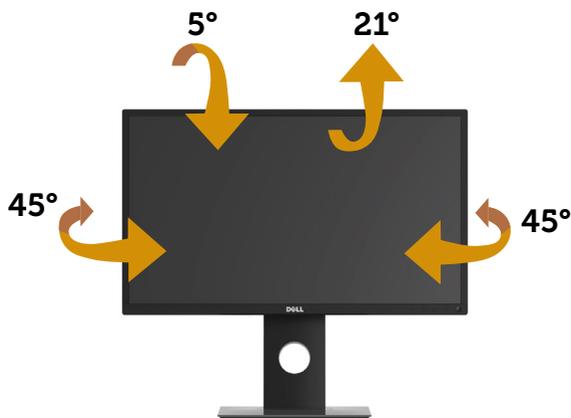


傾き、スイベル、垂直延長を使用する

 注意: これは、スタンド付きモニターに適用されます。他のスタンドをご購入された場合、セットアップ指示についてはそれぞれのスタンドのセットアップガイドを参照してください。

傾き、スイベル

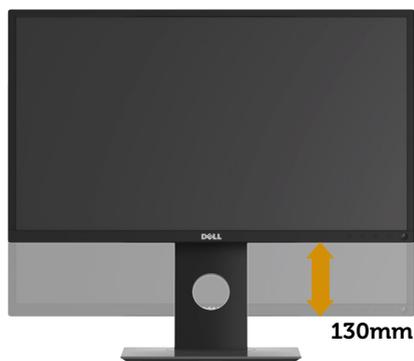
モニターにスタンドを取り付けると、一番見やすい角度にモニターを傾けスイベルすることができます。



 注意: 工場からモニターが出荷される際には、スタンドは取り外されています。

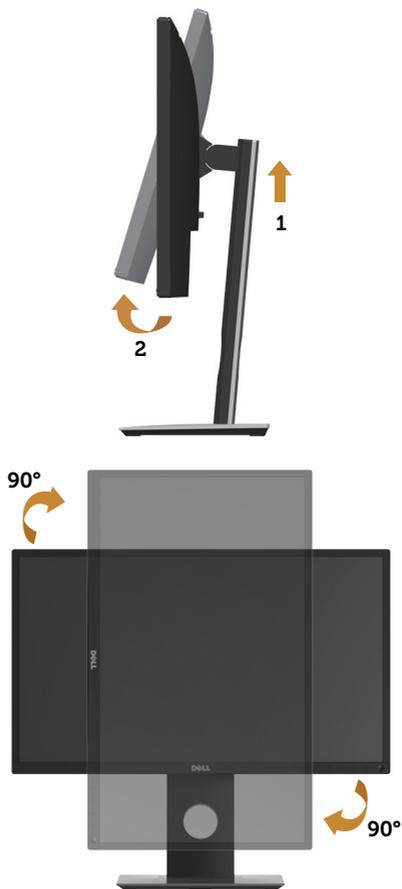
垂直延長

 注意: スタンドは垂直に最大 130 mm 伸ばせます。以下の図は、スタンドを垂直に伸ばす方法を示しています。



モニターの回転

モニターを回転させる前に、モニターの下側がぶつからないように、モニターを垂直に一杯に延長し(垂直延長)、完全に傾ける必要があります。



- 注意: Dell コンピューターでディスプレイ回転機能(横対縦表示)を使用するには、このモニターに含まれていない最新のグラフィックスドライバーが必要です。グラフィックスドライバーをダウンロードするには、www.dell.com/support にアクセスし、ビデオドライバーのダウンロードセクションを参照して、最新ドライバーに更新します。



-  **注意:** 縦表示モードに入っているとき、グラフィックを大量に使用するアプリケーション(3Dゲームなど)でパフォーマンスが落ちることがあります。

システムのディスプレイ回転設定の調整

モニターを回転させた後、以下の手順を実行して、システムのディスプレイ回転設定を調整する必要があります。

-  **注意:** Dell 以外のコンピューターでモニターを使用している場合、グラフィックスドライバのウェブサイトまたはお使いのコンピューターの製造元ウェブサイトアクセスし、ディスプレイで「コンテンツ」を回転させることについて情報を確認する必要があります。

ディスプレイ回転設定を調整するには:

1. デスクトップを右クリックし、プロパティをクリックします。
 2. 設定タブを選択し、アドバンストをクリックします。
 3. ATI グラフィックスカードを使っている場合は、回転タブを選択して、お気に入りの回転を設定します。
 4. nVidia グラフィックスカードを使っている場合は、nVidia タブをクリックして、左カラムで NVRotate を選択し、次にお気に入りの回転を選択します。
 5. Intel® グラフィックスカードを使っている場合は、Intel グラフィックスタブを選択して、グラフィックスプロパティをクリックし、回転タブを選択し、次にお気に入りの回転を設定します。
-  **注意:** 回転オプションがない場合、または正常に作動しない場合は、www.dell.com/support で、グラフィックスカード用の最新ドライバーをダウンロードしてください。



トラブルシューティング

⚠ 危険: このセクションの手順を実施する前に、[安全上の注意](#)に従ってください。

セルフテスト

モニターには、お使いのモニターが正しく機能しているかをチェックできるセルフテスト機能があります。モニターとコンピューターが正しく接続されているにもかかわらず、モニター画面が黒いままの場合は、次のステップを実行し、モニターのセルフテストを実行してください。

1. コンピューターとモニターの両方の電源を切ります。
2. モニターからすべてのビデオケーブルを取り外します。ケーブルを外すことで、コンピューターがこのセルフテストに関わらなくなります。
3. モニターの電源を入れます。

モニターが正しく機能している場合、信号がないことが検出され、次のいずれかのメッセージが表示されます。セルフテストモードの間、電源 LED は白のまま点灯します。



または



または



 **注意:** このボックスは、通常のシステム操作時にも、ビデオケーブルが切断または破損した場合に表示されます。

4. モニターの電源を切り、ビデオケーブルを再接続します。次に、コンピューターとモニターの両方の電源を入れます。

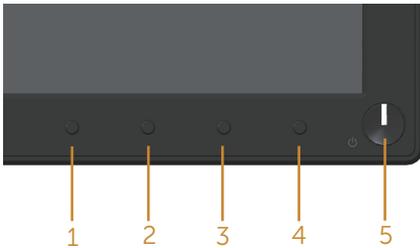
ケーブルを再接続してもモニターに何も映らなければ、ビデオコントローラーとコンピューターを確認してください。



ビルトイン診断

モニターにはビルトイン診断ツールがあり、画面の異常がモニターに内在する問題なのか、コンピューターやビデオカードの問題なのかを同定するために役立ちます。

 **注意:** ビデオケーブルが抜かれ、モニターはセルフテストモードの場合のみ、ビルトイン診断を実行することができます。



ビルトイン診断を実行するには:

1. 画面が汚れていないことを確認します (画面の表面に埃がないこと)。
2. コンピューターまたはモニターの裏側からビデオケーブルを抜きます。モニターはセルフテストモードに入ります。
3. フロントパネルのボタン 1 を 5 秒間押し続けます。灰色の画面が表示されます。
4. 注意して画面の異常を調べます。
5. フロントパネルのボタン 1 をもう一度押します。画面の色が赤に変わります。
6. ディスプレイに異常がないか調べます。
7. ステップ 5 と 6 を繰り返します。緑、青、黒、白、テキスト画面で表示を調査します。

テキスト画面が現れると、テストは完了です。終了するには、もう一度ボタン 1 を押します。

ビルトイン診断ツールを使用して画面の異常を検出できない場合、モニターは正常に機能しています。ビデオカードとコンピューターを調べてください。



共通の問題

次の表の内容は、起こりうるモニターの問題と、可能な解決策についての一般情報です。

| 一般的な症状 | 可能な解決策 |
|--------------------|--|
| ビデオなし / 電源 LED がオフ | <ul style="list-style-type: none">モニターとコンピューターを繋ぐビデオケーブルが正しく、確実に接続されていることを確認します。他の電子機器を使用して、電源コンセントが正しく機能していることを確認します。入力信号メニューを介して、正しい入力信号が選択されていることを確認します。 |
| ビデオなし / 電源 LED がオン | <ul style="list-style-type: none">OSD を利用し、輝度とコントラストコントロールを上げます。モニターのセルフテスト機能チェックを実行します。ビデオケーブルコネクターのピンが曲がったり、折れていないか確認します。ビルトイン診断を実行します。入力信号メニューを介して、正しい入力信号が選択されていることを確認します。 |
| 焦点がおかしい | <ul style="list-style-type: none">ビデオ延長ケーブルを取り除きます。モニターを工場出荷時設定にリセットします (工場リセット)。ビデオ解像度を正しいアスペクト比に変更します。 |
| 揺れ / 不安定なビデオ | <ul style="list-style-type: none">モニターを工場出荷時設定にリセットします (工場リセット)。環境要因をチェックします。モニターを移動させ、別の部屋でテストします。 |
| ピクセル抜け | <ul style="list-style-type: none">電源を入れ直します。常にオフになっているピクセルがありますが、これは LCD テクノロジーで発生することがある普通の欠陥です。Dell モニター品質とピクセルポリシーについての詳細は、Dell サポートサイト (www.dell.com/support/monitors) を参照してください。 |
| 常時点灯ピクセル | <ul style="list-style-type: none">電源を入れ直します。常にオフになっているピクセルがありますが、これは LCD テクノロジーで発生することがある普通の欠陥です。Dell モニター品質とピクセルポリシーについての詳細は、Dell サポートサイト (www.dell.com/support/monitors) を参照してください。 |
| 輝度の問題 | <ul style="list-style-type: none">モニターを工場出荷時設定にリセットします (工場リセット)。OSD で輝度とコントラストコントロールを調整します。 |
| 幾何学的歪み | <ul style="list-style-type: none">モニターを工場出荷時設定にリセットします (工場リセット)。OSD で水平方向と垂直方向のコントロールを調整します。 |



| | |
|------------------------------|---|
| 水平 / 垂直ライン | <ul style="list-style-type: none"> ● モニターを工場出荷時設定にリセットします (工場リセット)。 ● モニターのセルフテスト機能チェックを実行し、これらの線がセルフテストモードでも存在するかどうか確かめます。 ● ビデオケーブルコネクターのピンが曲がったり、折れていないか確認します。 ● ビルトイン診断を実行します。 |
| 同期の問題 | <ul style="list-style-type: none"> ● モニターを工場出荷時設定にリセットします (工場リセット)。 ● モニターのセルフテスト機能チェックを実行し、これらの乱れた画面がセルフテストモードでも現れるかどうか確かめます。 ● ビデオケーブルコネクターのピンが曲がったり、折れていないか確認します。 ● コンピューターをセーフモードで再起動します。 |
| 安全関連の問題 | <ul style="list-style-type: none"> ● どんな問題解決手段も実行してはいけません。 ● Dell にすぐにご連絡ください。 |
| 断続的な問題 | <ul style="list-style-type: none"> ● モニターとコンピューターを繋ぐビデオケーブルが正しく、確実に接続されていることを確認します。 ● モニターを工場出荷時設定にリセットします (工場リセット)。 ● モニターのセルフテスト機能チェックを実行し、とぎれる問題がセルフテストモードでも現れるかどうか確かめます。 |
| 色が出ない | <ul style="list-style-type: none"> ● モニターのセルフテスト機能チェックを実行します。 ● モニターとコンピューターを繋ぐビデオケーブルが正しく、確実に接続されていることを確認します。 ● ビデオケーブルコネクターのピンが曲がったり、折れていないか確認します。 |
| 色がおかしい | <ul style="list-style-type: none"> ● アプリケーションに応じて、色設定 OSD の色設定モードをグラフィックスまたはビデオに変更します。 ● 色設定 OSD で、異なるプリセットモードを試します。色設定 OSD で、ユーザーカラーの R/G/B 値を調整します。 ● 色設定 OSD で、入力カラー形式を RGB または YPbPr に変更します。 ● ビルトイン診断を実行します。 |
| 静止画像を長時間モニターに映っていたことによる画像の残像 | <ul style="list-style-type: none"> ● 電源管理機能を使用して、使用しないときはモニターを常にオフにします (詳細については、電源管理モードを参照してください)。 ● または、動的に変化するスクリーンセーバーを使用してください。 |
| ビデオのゴースト発生またはオーバーシュート | <ul style="list-style-type: none"> ● ディスプレイ OSD の応答時間を利用目的に合わせて高速または通常に変更します。 |



製品固有の問題

| 固有の症状 | 可能な解決策 |
|---------------------------|--|
| 画面の画像が小さすぎる | <ul style="list-style-type: none">ディスプレイ設定 OSD で、アスペクト比設定を確認します。モニターを工場出荷時設定にリセットします(工場リセット)。 |
| 前面パネルのボタンを使用してモニターを調整できない | <ul style="list-style-type: none">モニターの電源を切り、電源コードを抜き、もう一度差し、モニターの電源を入れます。OSD メニューがロックされているかどうかを確認します。ロックされている場合、電源ボタンの左にあるボタンを 6 秒間押し、ロックを解除します。 |
| ユーザーコントロールが押されると、入力信号なし | <ul style="list-style-type: none">信号ソースを確認します。マウスを動かすかキーボードのいずれかのキーを押して、コンピューターが待機またはスリープモードにないかを確認します。ビデオケーブルが正しく差し込まれているかどうかを確認してください。必要に応じて、ビデオケーブルを差し込み直してください。コンピューターまたはビデオプレイヤーをリセットします。 |
| 画像が全画面に表示されない | <ul style="list-style-type: none">DVD の異なるビデオ形式 (アスペクト比) のため、モニターは全画面表示しません。ビルトイン診断を実行します。 |

ユニバーサルシリアルバス (USB) 固有の問題

| 固有の症状 | 可能な解決策 |
|--|--|
| USB インターフェイスが作動していない | <ul style="list-style-type: none">モニターの電源がオンになっているかをチェックします。アップストリームケーブルをコンピューターに再接続します。USB 周辺機器 (ダウンストリームコネクタ) を再接続します。電源をオフにして、もう一度モニターをオンにします。コンピューターを再起動します。外付けポータブル HDD のような一部の USB デバイスは、高い電流を必要とすることがあります。デバイスをコンピューターシステムに直接接続してください。 |
| 高速 USB 3.0 インターフェイスが遅い | <ul style="list-style-type: none">コンピューターが USB 3.0 対応かどうかをチェックします。コンピューターの中には、USB 3.0、USB 2.0 と USB 1.1 ポートを搭載しているものがあります。正しい USB ポートが使用されていることを確認してください。正しい USB ポートが使用されていることを確認してください。アップストリームケーブルをコンピューターに再接続します。USB 周辺機器 (ダウンストリームコネクタ) を再接続します。コンピューターを再起動します。 |
| ワイヤレス USB 周辺装置は、USB 3.0 デバイスが接続されると、動作を停止します | <ul style="list-style-type: none">USB 3.0 周辺機器とワイヤレス USB 受信装置の距離をあけます。ワイヤレス USB 受信装置とワイヤレス USB 周辺装置をできるだけ近づけてください。USB 延長ケーブルを使って、ワイヤレス USB 受信装置をできるだけ USB 3.0 ポートから遠ざけてください。 |



付録

安全上の注意

⚠ 危険: この説明書で指定された以外の制御、調整、手順の使用は、感電、電気事故、機械的な事故に繋がることがあります。

安全上の注意については、安全、環境、規制情報 (SERI) を参照してください。

⚠ 危険: モニターからの青色光放射の潜在的な長期的な影響により、デジタル眼精疲労、眼の疲などの怪我、および、目に対する損傷を引き起こす可能性があります。また、モニターを長時間使用すると、首、腕、背中および肩などの体の一部の痛みを引き起こす可能性があります。

モニターを長時間使用することにより発生する眼精疲労および首 / 腕 / 背中 / 肩の痛みのリスクを減らすため、当社は、以下を推奨します：

1. 目から画面までの距離を 20 インチから 28 インチ (50cm ~ 70cm) 間に設定します。
2. モニターを長時間使用するときは、頻繁に瞬きをして目を潤わす、または、水で目を濡らすようにしてください。
3. 定期的かつ頻繁に、2 時間当たり 20 分間休憩をとります。
4. 休憩中は、モニターから目を離し、20 フィートの距離にある物体を少なくとも 20 秒間凝視します。
5. 休憩中は、ストレッチを行い、首、腕、背中および肩の緊張をほぐします。

FCC通知 (米国のみ) およびその他の規制情報

1. FCC 通知およびその他の規制情報については、規制コンプライアンス Web サイト (www.dell.com/regulatory_compliance) を参照してください。



Dellに連絡

販売、技術サービス、顧客サービスについて Dell に連絡する場合は、下記にお問い合わせください。

1. www.dell.com/contactdell にアクセスしてください。
2. ページの一番下の国 / 地域を選択ドロップダウンメニューから、お住まいの国または地域を確認します。
3. 適切なサービスまたはサポートリンクを必要に応じて選択する、あるいは、希望する Dell への連絡方法を選択します。Dell では複数のオンライン、電話によるサポートとサービスオプションを提供しています。国や製品によってサービスが利用できるかどうか異なります。また、一部のサービスはお住まいの地域では提供していないことがあります。

 注意：有効なインターネット接続がない場合には、連絡情報は仕入送り状、荷造伝票、請求書、Dell 製品カタログに掲載されています。

